

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



新毎日 新聞日

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.385・9月29日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me編集室／株式会社ヤマブラ：近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告／滋賀毎日広告社：大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数：100,000部
●発行／毎日新聞大阪本社開発宣伝部：大阪市北区梅田3-4-5

バーナーでガラスを溶かして繊細な美を表現するバーナーワーク。その透明感あふれるリアルな作品世界は、見る人のため息を誘うほど美しい。

まるで本物の水滴

「え、これがガラス細工？」

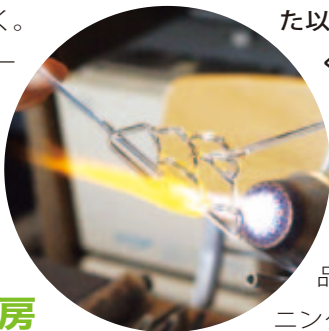
初めてバーナーワークのガラス工芸を見た人は皆がそう思うに違いない。例えば、水道の蛇口から飛び散る水滴を表現した作品「Water」。一粒一粒が本物の水滴に見える。



一般的なガラス工芸は、高温の溶解炉で溶かしたガラスを吹いてさおに巻き取り、息を吹き込んで形を作るが、竹川さんはスタン

ドタイプのバーナーの炎でガラスを溶かして形を作る。素材も一般的なガラス工芸で使うソーダガラスではなく硬質ガラス。実験用ガラス器具の材料に使われるもので、急激な温度変化に強く、細かな細工に向いている。さまざまな色の管や棒状の硬質ガラスを素材に作品が作り出されていく。

「Water」の水滴はバーナーで溶かしたガラスをピンセットなどで曲げ、一粒一粒作り出したもので、完成に1週間以上かかった。



最初は台所が工房

きっかけは13年前、軽い気持ちで長浜・黒壁の吹きガラス教室に通ったこと。

バーナーの魔法！ 繊細なガラスのオブジェ



「Water」
琵琶湖岸で撮影

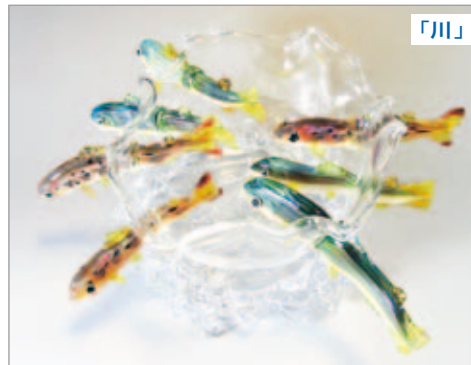
そこでバーナーワークのガラス工芸を知り、表現の多様さのとりこになった。吹きガラスのように大がかりな設備がいらず、手軽に机の上で作業ができるのも魅力だった。その後、京都のプロ養成講座に通って腕を磨いた。

「常に左手でガラス管を回しながら均一にバーナーの炎を当て、手の動かし方を調節しながら管を吹きます。思った

以上に難しく、まともに丸く吹けるようになるまで1年以上もかかりました。台所にバーナーを置いて毎日練習しました」

01年、世界的なガラス作品公募展「ニューヨーク州コニング美術館 New Glass Review23」に入選した。ペンチやピンセット、ナイフ、コテなどさまざま

な道具を駆使して初めて可能な複雑な構造の作品や、1㎡ほどの大きな作品まで作ようになった。05年、自宅の庭に念願の工房を開いた。



「川」

モチーフは自然の中に

身近に体験したことや、見たものから創作意欲をかきたてられる。犬の散歩に出かけ、美しく咲く草花や川で見つけたアユやカイツブリ、カルガモ、カワセミなどをモチーフに作品を作る。透



ガラス工芸作家
たけがわ
竹川 久仁子さん
(彦根市在住・51歳)

素敵な人

明な素材だからこそ表現できる「水」も好きなテーマだ。

「夫と一緒に琵琶湖岸に出かけ、自然の中で自分の作品の写真を撮ることがあります。太陽の光を浴びてガラスがキラキラ光り、背景の琵琶湖と重なって感動します」近々新しい工房を彦根市内にオープンする予定。今は不定期なガラス工芸教室を定期的に開き、多くの人にバーナーワークの魅力を楽しんでもえらえるようにしたいと夢は膨らむ。(取材・録山)

詳しくは www.gaido.jp/3851

竹川 久仁子 (Glass Studio stellar G.)
●彦根市大藪町188-21 ●TEL:0749-22-0986

滋賀生活情報紙【Oh!Me】はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読お申し込みはフリーダイヤル 0120-468-012

勸学院客殿

狩野光信による華麗な障壁画(重文) 10/9(日)・23(日) 11/6(日)・13(日)



智証大師御正忌会

～秘仏・智証大師坐像(国宝)御開扉～ 三井古流煎茶道献茶式
重文・唐院にて 10/29(土) 午前10時から ※秘仏・智証大師坐像(国宝)の一般参拝は法要終了後、午後3時まで

<http://www.shiga-miidera.or.jp>

三井寺

検索

特別公開

今秋の

◆時間／午前10時から午後4時まで
◆拝観料／各客殿 一人 六〇〇円

近江八景、三井の晩鐘 西国第14番札所



tel 077-522-2238



光浄院客殿

桃山時代を代表する書院建築

10/16(日) 30(日) 11/20(日)

大津市園城寺町246 ●拝観時間 午前8時～午後5時 ※年中無休
●拝観料 大人500円／中高生300円／小学生200円 ※30名以上は団体扱いです。(上記料金より一人マイナス50円) ●駐車場 350台収容(1日500円)

交通のご案内 ○JR琵琶湖線「大津駅」下車、バス10分 ○JR湖西線「大津京駅」下車、南へ徒歩(1.8km)15分 ○京阪電車石坂線「三井寺駅」下車、西へ徒歩(0.7km)5分